



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 AOKIホールディングス  
コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 田村春生

TEL 045-941-1388

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,481	7.1	2,742	28.9	2,956	22.6	1,795	321.6
23年3月期第1四半期	33,116	1.8	2,127	15.1	2,412	15.7	425	53.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,723百万円 (429.8%) 23年3月期第1四半期 325百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	42.09	
23年3月期第1四半期	9.98	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	165,692	100,276	60.3
23年3月期	166,081	99,435	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 99,862百万円 23年3月期 98,779百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		15.00		15.00	30.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	61,720	5.3	2,000	6.2	2,400	12.1	1,250	180.0	29.29
通期	140,000	5.6	11,500	5.0	12,400	2.8	5,500	53.8	128.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	49,124,752 株	23年3月期	49,124,752 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	6,453,796 株	23年3月期	6,453,431 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	42,671,112 株	23年3月期1Q	42,672,764 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提等については、添付資料3ページ(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災、原発や電力不足などの影響により先行き不透明な状況で推移いたしました。また、小売業界においては夏の節電意識の高まりなどにより、夏を涼しく過ごすための消費動向が顕著化しております。

このような先行き不透明な環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施いたしました結果、売上高は354億81百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は27億42百万円(前年同四半期比28.9%増)、経常利益は29億56百万円(前年同四半期比22.6%増)、四半期純利益は17億95百万円(前年同四半期比321.6%増)となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

#### (ファッション事業)

AOKIでは、クールビズ関連商品として、「プレミアムウォッシュスーツ」、「プレミアムエアクルススーツ」、「空冷シャツ」や「デオドラントシリーズ」等を拡充するとともに、ビジネスシーンにも最適なポロシャツ「BIZニットシャツ」を新たに発売し、クールビズスタイルの提案を強化いたしました。さらにレディス商品の拡充やビジカジスタイルの「CAFE SOHO」を強化し、これらの商品を中心に、品揃え・販促・演出・営業企画を連動させ、既存店を活性化してまいりました。店舗面におきましては、4店舗を新規出店する一方、2店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は429店舗(前期末427店舗)となりました。

ORIHICA(オリヒカ)は、来期以降の100店舗体制に備えた効率経営を推進するとともに、首都圏のショッピングセンターやファッションビルを中心に7店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は77店舗(前期末70店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果とクールビズ関連商品の好調により既存店が堅調に推移し、当第1四半期の売上高は230億18百万円(前年同四半期比5.7%増)、営業利益は20億15百万円(前年同四半期比30.7%増)と増収増益になりました。

#### (アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、平成23年4月に「アニヴェルセル豊洲」を開業いたしました。銀座駅から電車で5分、豊洲駅から徒歩3分と交通至便の環境に位置した「アニヴェルセル豊洲」は、お客様からご好評をいただき、順調な立ち上がりとなりました。この開業により、当第1四半期末の店舗数は13店舗(前期末12店舗)となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は「アニヴェルセル豊洲」が寄与し、59億74百万円(前年同四半期比4.2%増)となったものの、既存店の施行組数減少と新店の経費が増加し、営業利益は4億48百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

#### (カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、11店舗のリニューアルを実施するとともにグランドメニューや新メニュー等の提案、地域に密着した法人企業の新規開拓の強化、また販促キャンペーンを実施し、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では駅前に4店舗を新規出店する一方、1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は129店舗(前期末126店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果と震災以降の自粛ムードの緩和や近場レジャーの需要増加により既存店が堅調に推移し、当第1四半期の売上高は31億18百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業利益は1億49百万円(前年同四半期比40.6%増)と増収増益になりました。

#### (複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、12店舗のリニューアルを実施しアミューズメントコンテンツの増設や店内設備・店舗環境を整備するとともに、モーニングやランチメニューを強化いたしました。店舗面では、5店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は157店舗(前期末152店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果と引き続き既存店が堅調に推移し、当第1四半期の売上高は33億74百万円(前年同四半期比23.6%増)、営業利益は2億33百万円(前年同四半期比223.6%増)と増収、大幅増益になりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億88百万円減少し、1,656億92百万円となりました。

流動資産は、新規出店等によりたな卸資産が4億8百万円、前払費用等のその他が9億19百万円増加した一方、設備投資や法人税等の支払い等による現金及び預金が16億56百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ4億96百万円減少いたしました。固定資産は、新規出店等による有形固定資産が1億89百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ1億8百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等が22億86百万円減少した一方、季節的要因等により支払手形及び買掛金が30億75百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ8億48百万円増加いたしました。固定負債は、長期借入金が約条返済等により21億18百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ20億77百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、四半期純利益等による利益剰余金が11億55百万円増加したこと等により8億41百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績をベースに、平成23年5月13日の決算発表時に開示した第2四半期累計期間及び通期の業績予想について、平成23年7月27日に上方修正いたしました。なお、通期のセグメント別の業績についても以下のとおり修正しております。

【平成24年3月期のセグメント別予想】

	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	カラオケルーム運営事業	複合カフェ運営事業	連結
売上高(百万円)	88,900	23,620	13,450	14,050	140,000
前期比(%)	103.1	110.5	106.3	113.7	105.6
セグメント利益(百万円)	8,150	1,700	1,170	930	11,500
前期比(%)	102.1	126.4	102.8	109.8	105.0

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、連結上の調整額です。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	18,249	16,593
売掛金	5,243	5,076
たな卸資産	15,279	15,688
その他	5,819	6,739
貸倒引当金	9	10
流動資産合計	44,583	44,086
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	38,922	41,034
土地	31,513	31,513
その他(純額)	11,059	9,137
有形固定資産合計	81,494	81,684
<b>無形固定資産</b>		
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	9,126	9,011
敷金	16,524	16,544
その他	10,376	10,257
貸倒引当金	45	45
投資その他の資産合計	35,981	35,767
固定資産合計	121,497	121,606
<b>資産合計</b>	<b>166,081</b>	<b>165,692</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	11,163	14,239
1年内返済予定の長期借入金	6,597	6,211
未払法人税等	2,942	656
賞与引当金	1,430	667
役員賞与引当金	113	34
その他	9,277	10,565
流動負債合計	31,524	32,372
<b>固定負債</b>		
長期借入金	23,575	21,456
退職給付引当金	613	648
役員退職慰労引当金	1,408	1,418
ポイント引当金	681	702
資産除去債務	3,001	3,160
負ののれん	1,556	1,451
その他	4,284	4,205
固定負債合計	35,121	33,043
<b>負債合計</b>	<b>66,645</b>	<b>65,416</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	24,788	24,788
利益剰余金	57,987	59,143
自己株式	7,080	7,080
株主資本合計	98,977	100,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198	270
その他の包括利益累計額合計	198	270
新株予約権	655	414
純資産合計	99,435	100,276
負債純資産合計	166,081	165,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	33,116	35,481
売上原価	17,739	19,146
売上総利益	15,377	16,334
販売費及び一般管理費	13,249	13,592
営業利益	2,127	2,742
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	49	47
不動産賃貸料	230	221
負ののれん償却額	243	243
その他	97	47
営業外収益合計	638	576
営業外費用		
支払利息	85	83
不動産賃貸費用	232	211
その他	35	68
営業外費用合計	353	362
経常利益	2,412	2,956
特別利益		
新株予約権戻入益	2	241
その他	0	-
特別利益合計	3	241
特別損失		
差入保証金・敷金解約損	-	10
固定資産除却損	1	65
減損損失	53	78
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,466	-
その他	0	7
特別損失合計	1,522	162
税金等調整前四半期純利益	892	3,035
法人税、住民税及び事業税	634	645
法人税等調整額	167	593
法人税等合計	466	1,239
少数株主損益調整前四半期純利益	425	1,795
四半期純利益	425	1,795



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	425	1,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	72
その他の包括利益合計	100	72
四半期包括利益	325	1,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	1,723
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	カラオケ ルーム運営 事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,773	5,726	2,885	2,731	33,116		33,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	7			7	7	
計	21,773	5,734	2,885	2,731	33,124	7	33,116
セグメント利益	1,542	499	106	72	2,220	92	2,127

(注) 1 セグメント利益の調整額 92百万円には、セグメント間取引消去830百万円、のれん償却額 133百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 789百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」セグメントにおいて、主に店舗の閉鎖が決定し回収が見込めなくなった固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては53百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	カラオケ ルーム運営 事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,017	5,971	3,117	3,374	35,481		35,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	1		5	5	
計	23,018	5,974	3,118	3,374	35,486	5	35,481
セグメント利益	2,015	448	149	233	2,847	105	2,742

(注) 1 セグメント利益の調整額 105百万円には、セグメント間取引消去796百万円、のれん償却額 133百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 768百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」セグメントにおいて、主に店舗の移転が決定し回収が見込めなくなった固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては54百万円です。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。